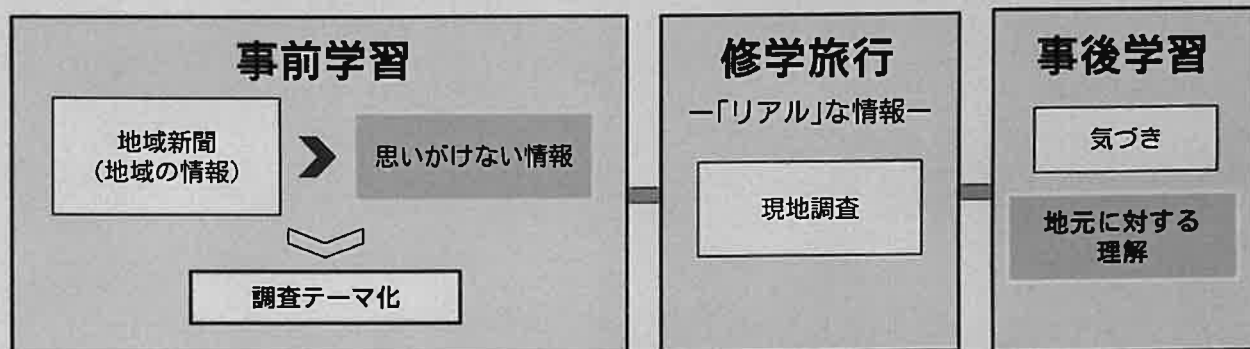


新聞を活用した修学旅行の提案

—紙面から問いを立て北海道で深めた学び—

【学びのパッケージ】



動機

防災活動に取り組む中で、新聞が信頼度の高いメディアで、新聞特有の利点（後述）があることがわかった。そこで、修学旅行の事前・事後学習に、新聞を用いることで、ローカルな情報を用いた新しい気づきを得られるのではないかと考えた。

—「ならふく」の活動について—

2011年の東日本大震災をきっかけに、奈良県と福島県をつなぐ有志団体として発足した。

主に東日本大震災の教訓を生かした防災活動や慈善活動、募金活動などに取り組んでいる。

修学旅行とは

ここでは地元や日常では知ることのできない「リアル」な情報に出会える喜びの機会と定義する。

事前学習の手順

1. 事前学習の手段として新聞を使う
2. 行き先の地域の新聞で情報を収集
3. 気になった情報をピックアップする
4. テーマの決定

事後学習

1. 事前学習と現地調査を通し学んだことをまとめる
2. 修学旅行の前後で学びまとめたことを、活用した地域新聞の方に送り、コメントをいただくことでさらに学びを深め、修学旅行の学びを完成させる。

新聞を使う利点

・ SNSと比べて正確な情報が多い
出典がはっきりしている
裏づけがされている情報が載っている

・ SNSでは知りたい情報だけがダイレクトに出てくるが新聞では興味関心のない情報も入手できる。

デジタル版のメリット

紙媒体との違いは内容の大半は同じだが紙媒体と違って動画や画像などがついていてわかりやすくされてる。紙媒体は朝、夕方と決まった時間に情報が得れるが、デジタル版は速報性ですぐに情報を得ることができる。見たい内容などをキーワード検索することができる。

紙面版のメリット

一目で紙面全体を見渡せるため、重要なニュースや特集がどこにあるか分かりやすく、また情報の取捨選択が進んでいる世の中で自分の興味関心以外の情報を得る機会になり、地域の思いがけない情報に出会うことができる。紙で読んだ情報の方が視覚と触覚の両方を使うことで、記憶の定着が促され記憶に残りやすい。

現地調査

新聞で得た情報を元に現地で見たり聞いたり体感することで事前情報と現地調査の結果を比較する。

→実際に事前情報と同じだったか、違いがあったか、違う場合はどう違うのか

気づきを得る

普段自分たちが住んでいる地域との違いや日常生活の違いを体感できる。

事前学習を通して、行った地域への理解をより深く得ることができる。また、新聞を活用しているので元々興味関心のなかった話題に現地で触れられるチャンスがある。

今後の展望

今回は北海道新聞の紙媒体を主に用いて現地の違いや日常生活について調べたが、紙媒体の新聞だけでは、内容を見つけることが難しいと感じた。

紙媒体にもメリットはあるがデジタル新聞を利用するメリットも多くわかったため、デジタルの新聞も用いて学習をしてみようと思う。